

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	ウェディング・ホテル&ツーリズム専門学校
設置者名	学校法人群馬県美容学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務 専門課程	ウェディングプランナー学科	夜・通信	650 時間	160 時間	
	ウェディングスタイリスト学科	夜・通信	790 時間	160 時間	
	ホテル・旅館・リゾート学科	夜・通信	530 時間	160 時間	
	葬祭ディレクター学科	夜・通信	720 時間	160 時間	
	ホスピタリティマネジメント学科(ウェディングプランナーコース)	夜・通信	650 時間	160 時間	
	ホスピタリティマネジメント学科(ウェディングスタイリストコース)	夜・通信	665 時間	160 時間	
	ホスピタリティマネジメント学科(ホテル・旅館・リゾートコース)	夜・通信	645 時間	160 時間	
	ホスピタリティマネジメント学科(葬祭ディレクターコース)	夜・通信	805 時間	160 時間	
	ホスピタリティマネジメント学科(フラワーコーディネートコース)	夜・通信	460 時間	160 時間	
	ホスピタリティマネジメント学科(ホスピタリティビジネスコース)	夜・通信	520 時間	160 時間	
(備考) ホスピタリティマネジメント学科は、R3年4月よりウェディングプランナー学科から名称変更を行った。新学科はコースが複数に分かれることになり旧学科との学年進行での計上が困難なため、ウェディングプランナー学科は					

2学年のみの授業科目をホスピタリティマネジメント学科は1学年のみの授業科目を計上。

ウェディングスタイリスト学科、ホテル・旅館・リゾート学科、葬祭ディレクター学科は、R3年度3月末をもって廃止となる。よって、1学年の在籍者がいないため、2学年のみの授業科目を計上。

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページによる公表 URL : <http://www.gbhc-ac.jp/> (TOP ページ下部の“シラバス等”内に記載)

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	ウェディング・ホテル&ツーリズム専門学校
設置者名	学校法人群馬県美容学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにより公表 URL : http://www.gbhc-ac.jp/ (TOP ページ下部、“財務諸表等”の理事名簿に記載)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会計事務所代表	R3.6～ R6.5 (3年)	財務
非常勤	労務管理事務所代表	R3.6～ R6.5 (3年)	労務
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	ウェディング・ホテル&ツーリズム専門学校
設置者名	学校法人群馬県美容学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>【授業計画書(シラバス)の作成過程】 前年に実施された、授業評価アンケートをもとに講師と教務でシラバスと授業構築の見直しをして次年度の作成をする。</p> <p>【授業計画書の作成・公表時期】 講師と教務での見直し後、授業計画書(シラバス)の作成をする。公表時期は新年度始まり早い時期に学生に配布、ホームページ上での公表も同様。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>ホームページにより公表</p> <p>URL : http://www.gbhc-ac.jp/ (TOP ページ下部、“シラバス等”)</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>【単位授与又は履修認定の厳格かつ適正な実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位計算方法は、講義および演習については15時間から20時間をもって1単位とする。実習および実技については30時間から45時間をもって1単位とする。 ・卒業までに履修させる単位はウェディングプランナー学科においては89単位以上、ウェディングスタイリスト学科においては66単位以上、ホテル・旅館・リゾート学科においては96単位以上、葬祭ディレクター学科においては84単位以上を修得したもの。ホスピタリティマネジメント学科ウェディングプランナーコースにおいては91単位以上、ウェディングスタイリストコースにおいては65単位以上、ホテル・旅館・リゾートコースにおいては96単位以上、葬祭ディレクターコースにおいては82単位以上、フラワーコーディネーターコースにおいては77単位以上、ホスピタリティビジネスコースにおいては85単位以上とする。 ・ウェディングプランナー学科の1年次におけるインターンシップは、実働120時間を実習演習科目のインターンシップで4単位として卒業単位に認める。ウェディングスタイリスト学科の1年次におけるインターンシップは実働30時間を実習演習科目のブライダルビューティーコーディネートIの1単位として卒業単位に認める。ホテル・旅館・リゾート学科の1年次におけるインターンシップ実働60時間、2年次におけるインターンシップ実働60時間は、実習演習科目のインターンシップでそれぞれ2単位として卒業単位に認める。葬祭ディレクター学科の1年次におけるインターンシップ実働60時間、2年次におけるインターンシップ実働60時間は、実習演 	

習科目のインターンシップでそれぞれ2単位として卒業単位に認める。但し、別に定める要件を満たすこと。

ホスピタリティマネジメント学科ウェディングプランナーコース、ウェディングスタイリストコースのインターンシップは、1年次の実働140時間を4単位、2年次の実働40時間を1単位として実習演習科目のインターンシップの卒業単位として認める。ホテル・旅館・リゾートコースのインターンシップは、1年次の実働90時間を3単位、2年次の実働40時間を1単位として実習演習科目のインターンシップの卒業単位として認める。葬祭ディレクターコースのインターンシップは、1年次の実働60時間を2単位、2年次の実働40時間を1単位として実習演習科目のインターンシップの卒業単位として認める。フラワーコーディネーターコースのインターンシップは、1年次の実働180時間を6単位、2年次の実働40時間を1単位として実習演習科目のインターンシップの卒業単位に認める。ホスピタリティビジネスコースのインターンシップは、1年次の実働180時間を6単位、2年次の実働40時間を1単位として実習演習科目のインターンシップの卒業単位に認める。但し別に定める要件を満たすこと。

- ・2年次の必須の海外研修はウェディングプランナー学科においては海外リゾートウェディング実地研修の1単位、ホテル・旅館・リゾート学科においては海外リゾートホテル実地研修の1単位としてそれぞれ卒業単位に認める。
- ・ホスピタリティマネジメント学科の海外リゾート研修の参加は、各コースの実習演習科目のインターンシップの1単位として卒業単位に認める。
- ・各授業科目の成績評価は各学期末に行う試験、実習の成果、レポート内容、提出状況、受講態度などを総合的に勘案し、各授業科目を修了したものに所定の単位を与える。担当講師により、試験、レポート、学修成果を厳格に評価する。
- ・履修認定に必要な単位取得、成績評価の方法には履修管理ソフトを使用して、予め設定した履修時間や成績（評価）が厳格かつ適正に管理し、単位授与又は履修設定を実施している。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

【客観的な指標の具体的な内容】

学修の評価は、科目により試験得点による評価や実習の成果、レポート内容・提出状況、受講態度等を総合的に勘案し5段階の成績評価とし、C評価以上を合格とする。

S：特に優秀な成績・・・100～90点

A：すぐれた成績・・・89～80点

B：一応その科目の要求を満たす成績・・・79～70点

C：合格と認められる最低の成績・・・69～60点

F：不合格・・・59点以下

履修管理ソフトを導入しており、上記によって出された各科目の成績、順位、平均点、評価が明確に管理されて指標の算出に役立てている。

【客観的な指標の適切な実施状況】

上記によって導き出された、学生個人の全ての試験科目の成績を合計し、個人の平均点を算出する。学科ごとに全学生の平均点を算出し指標分布を作成する。

客観的な指標の	ホームページにより公表
---------	-------------

算出方法の公表方法	URL : http://www.gbbc-ac.jp/ (TOP ページ下部、“成績評価に関する…”)
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>【卒業認定に関する方針の具体的な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学に2年以上在学し学科ごとに定める授業科目を全て履修し、ウェディングプランナー学科においては89単位以上、ウェディングスタイリスト学科においては66単位以上、ホテル・旅館・リゾート学科においては96単位以上、葬祭ディレクター学科においては84単位以上修得したもの。ホスピタリティマネジメント学科ウェディングプランナーコースにおいては91単位以上、ウェディングスタイリストコースにおいては65単位以上、ホテル・旅館・リゾートコースにおいては96単位以上、葬祭ディレクターコースにおいては82単位以上、フラワーコーディネーターコースにおいては77単位以上、ホスピタリティビジネスコースにおいては85単位以上を修得したもの。 ・納入すべき授業料その他の金額をすべて納入しているもの。 ・卒業認定会議にて附して卒業を認定する。 <p>卒業認定会議では、上記の卒業単位の履修と納入すべき授業料その他の金額をすべて納入しているもののほかに、本校の校訓である「3Hの法則」に基づいて、Heart（まごころ）、Head（知識）、Hand（技能・所作）をバランス良く学び、総合力を身につけ、社会に貢献できる有用な人材になっているのかどうかも加味しながら、教員と校長とで卒業認定について話し合い、学生に「卒業認定通知」を出す。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	<p>ホームページにより公表</p> <p>URL : http://www.gbbc-ac.jp/ (TOP ページ下部、“成績評価に関する…”)</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	ウェディング・ホテル&ツーリズム専門学校
設置者名	学校法人群馬県美容学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページにより公表 URL： http://www.gbbc-ac.jp/ （TOP ページ下部、“財務諸表等”）
収支計算書又は損益計算書	ホームページにより公表 URL： http://www.gbbc-ac.jp/ （TOP ページ下部、“財務諸表等”）
財産目録	ホームページにより公表 URL： http://www.gbbc-ac.jp/ （TOP ページ下部、“財務諸表等”）
事業報告書	ホームページにより公表 URL： http://www.gbbc-ac.jp/ （TOP ページ下部、“財務諸表等”）
監事による監査報告（書）	ホームページにより公表 URL： http://www.gbbc-ac.jp/ （TOP ページ下部、“財務諸表等”）

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	ウェディングプランナー学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1700 単位時間／89 単位	1150 単位時間 /単位	単位時間 /単位	550 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		5人	0人	3人	18人	21人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要） 冠婚葬祭業、観光業、宿泊業、またこれらを取り巻くサービス業界などに必要な専門知識と実践的な技能を授けるとともに、豊かな人間性を備えた人材の育成を目的とする。 ウェディングプランナー学科においては、結婚式のプランニングを中心にドレスコーディネーター、レストランサービスなど総合的な知識・技術・ビジネス感覚が必要とされるウェディングプランナーを目指すために必要なカリキュラムを修得していきます。
--

成績評価の基準・方法
(概要) 各授業科目の成績評価は、各学期末に行う試験、実習の成果、レポート内容・提出状況、受講態度等を総合的に勘案し、各授業科目を修了したものに所定の単位を与える。
卒業・進級の認定基準
(概要) 【進級】 ウェディングプランナー学科の学生は、卒業に必要な課目をすべて履修しなければならない。学修の評価は、科目により試験得点による評価や実習の成果、レポート内容・提出状況、受講態度等を総合的に勘案し5段階の成績評価とし、C評価以上を合格とする。 ・校長は、次の各号に該当する者について進級認定会議に附して進級を認定する。 ①1年次に定められた授業科目を履修し、単位を修得したもの。 ②1年次に納入すべき授業料その他の金額をすべて納入しているもの。 【卒業】 卒業までに履修させる単位数は、ウェディングプランナー学科においては89単位以上。1年次におけるインターンシップは、実働120時間を実習演習科目のインターンシップで4単位として卒業単位に認める。2年次の必須の海外研修は、ウェディングプランナー学科においては海外ウェディング実地研修の1単位、卒業単位に認める
学修支援等
(概要) 【校内に学生用パソコンを設置】学修や就職等に必要な情報等を自由に得たり、書類等の作成から印刷まですることができる。 【就職サポート】 個別面接指導や就職試験対策、自己分析、インターンシップ等により学生一人一人の就職をサポートしています。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
7人 (100%)	0人 (0%)	6人 (85.7%)	1人 (14.2%)
(主な就職、業界等) ホテル・ジュエリー・販売			
(就職指導内容) キャリアデザインから企業研究、エントリーシート作成、履歴書(志望動機)作成 SPI、グループディスカッション、グループ面接、個人面接などの指導。面接試験の タイミングに合わせた指導。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 授業内で対策授業を行っている。 模擬テストなど練習問題を作成対応している。 フラワー装飾技能検定、レストランサービス技能検定、ブライダルコーディネーター技能 検定、日本の宿おもてなし検定、ホテルビジネス実務検定、認定ウェディングスペシャ リスト、認定日本のウェディングプランナー、認定日本のドレスコーディネーター、販 売士検定、秘書実務検定			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
12人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 中途退学者なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) ロングホームルームを多く設け学生の変化や状況を把握するように心掛ける。 OB、OG来校の際には、アドバイスをしてもらおうが、在校生の心に響いているので今後も続けて実施する。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	ウェディングスタイリスト学科	申請予定			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1700 単位時間/単位	415 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1285 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		4人	0人	3人	6人	9人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 冠婚葬祭業、観光業、宿泊業、またこれらを取り巻くサービス業界などに必要な専門知識と実践的な技能を授けるとともに、豊かな人間性を備えた人材の育成を目的とする。 ウェディングスタイリスト学科においては、ドレスコーディネーターや和装着付を中心にブライダルメイクやネイル、エステまでを幅広く網羅したカリキュラム編成でブライダルビューティの技術を持ったウェディングスタイリストを養成します。

成績評価の基準・方法
(概要) 各授業科目の成績評価は、各学期末に行う試験、実習の成果、レポート内容・提出状況、受講態度等を総合的に勘案し、各授業科目を修了したものに所定の単位を与える。
卒業・進級の認定基準
(概要) 【進級】 ウェディングスタイリスト学科の学生は、卒業に必要な課目をすべて履修しなければならない。学修の評価は、科目により試験得点による評価や実習の成果、レポート内容・提出状況、受講態度等を総合的に勘案し5段階の成績評価とし、C評価以上を合格とする。 ・校長は、次の各号に該当する者について進級認定会議に附して進級を認定する。

<p>① 1年次に定められた授業科目を履修し、単位を修得したもの。</p> <p>② 1年次に納入すべき授業料その他の金額をすべて納入しているもの。</p> <p>【卒業】 卒業までに履修させる単位数は、ウェディングスタイリスト学科においては66単位以上。ウェディングスタイリスト学科の1年次におけるインターンシップは実働30時間を実習演習科目のブライダルビューティーコーディネートⅠの1単位として卒業単位に認める。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要) 【校内に学生用パソコンを設置】学修や就職等に必要な情報等を自由に得たり、書類等の作成から印刷まですることができる。</p> <p>【就職サポート】 個別面接指導や就職試験対策、自己分析、インターンシップ等により学生一人一人の就職をサポートしています。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 完成年度前の為、卒業生なし			
(就職指導内容) 完成年度前の為、卒業生なし			
(主な学修成果(資格・検定等)) 完成年度前の為、卒業生なし			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
4人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 中途退学者なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) ホームルームの時間に学生の変化や状況を把握するように心掛ける。 OB、OG来校の際には、アドバイスをしてもらおうが、在校生の心に響いているので今後も続けて実施する。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務専門課程	ホテル・旅館・リゾート学科	○				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1700 単位時間／単位	1360 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	340 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
20人	1人	0人	3人	18人	21人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>冠婚葬祭業、観光業、宿泊業、またこれらを取り巻くサービス業界などに必要な専門知識と実践的な技能を授けるとともに、豊かな人間性を備えた人材の育成を目的とする。</p> <p>ホテル・旅館・リゾート学科においては、フロントやドアマン、コンシェルジュ、仲居などホテル・旅館スタッフの様々な職種やセクションに対応したカリキュラム編成で学んでいきます。更に国内旅行業務取扱管理者、観光士の資格取得を目指し、ホテル・旅館に加え観光・旅行の分野まで網羅したカリキュラムの修得をします。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>各授業科目の成績評価は、各学期末に行う試験、実習の成果、レポート内容・提出状況、受講態度等を総合的に勘案し、各授業科目を修了したものに所定の単位を与える。</p>

卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>【進級】</p> <p>ホテル・旅館・リゾート学科の学生は、卒業に必要な課目をすべて履修しなければならない。学修の評価は、科目により試験得点による評価や実習の成果、レポート内容・提出状況、受講態度等を総合的に勘案し5段階の成績評価とし、C評価以上を合格とする。</p> <p>・校長は、次の各号に該当する者について進級認定会議に附して進級を認定する。</p> <p>① 1年次に定められた授業科目を履修し、単位を修得したもの。</p> <p>② 1年次に納入すべき授業料その他の金額をすべて納入しているもの。</p> <p>【卒業】</p> <p>卒業までに履修させる単位数は、ホテル・旅館・リゾート学科においては96単位以上とする。</p> <p>ホテル・旅館・リゾート学科の1年次におけるインターンシップ実働60時間、2年次におけるインターンシップ実働60時間は、実習演習科目のインターンシップでそれぞれ2単位として卒業単位に認める。2年次の必須の海外研修は、ホテル・旅館・リゾート学科においては海外リゾートホテル実地研修の1単位としてそれぞれ卒業単位に認める。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>【校内に学生用パソコンを設置】学修や就職等に必要な情報等を自由に得たり、書類等の作成から印刷まですることができる。</p>

<p>【就職サポート】 個別面接指導や就職試験対策、自己分析、インターンシップ等により学生一人一人の就職をサポートしています。</p>
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) R2年度卒業生なし			
(就職指導内容) 令和2年度卒業生なし			
(主な学修成果（資格・検定等）) 令和2年度卒業生なし			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 中途退学者なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) ホームルームの時間に学生の変化や状況を把握するように心掛ける。 OB、OG来校の際には、アドバイスをしてもらおうが、在校生の心に響いているので今後も続けて実施する。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務専門課程	葬祭ディレクター学科	申請予定				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼		講義	演習	実習	実験	実技
2年		1720 単位時間/単位	1060 単位時間/単位	単位時間/単位	660 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
		単位時間/単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
10人	1人	0人	3人	8人	11人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>冠婚葬祭業、観光業、宿泊業、またこれらを取り巻くサービス業界などに必要な専門知識と実践的な技能を授けるとともに、豊かな人間性を備えた人材の育成を目的とする。葬祭ディレクター学科では、葬祭技能審査取得を目標に、葬祭に関する基本的な接遇マナーや葬送ビジネス、公衆衛生、悲しみに包まれたご遺族の心のケアから専門知識を学びます。また祭壇設営、葬儀装飾などを総合的に習得し、優しさを持ったプロを育成します。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>各授業科目の成績評価は、各学期末に行う試験、実習の成果、レポート内容・提出状況、受講態度等を総合的に勘案し、各授業科目を修了したものに所定の単位を与える。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>【進級】</p> <p>葬祭ディレクター学科の学生は、卒業に必要な課目をすべて履修しなければならない。学修の評価は、科目により試験得点による評価や実習の成果、レポート内容・提出状況、受講態度等を総合的に勘案し5段階の成績評価とし、C評価以上を合格とする。</p> <p>・校長は、次の各号に該当する者について進級認定会議に附して進級を認定する。</p> <p>① 1年次に定められた授業科目を履修し、単位を修得したもの。</p> <p>② 1年次に納入すべき授業料その他の金額をすべて納入しているもの。</p> <p>【卒業】</p> <p>卒業までに履修させる単位数は、葬祭ディレクター学科においては84単位以上とする。葬祭ディレクター学科の1年次におけるインターンシップ実働60時間、2年次におけるインターンシップ実働60時間は、実習演習科目のインターンシップでそれぞれ2単位として卒業単位に認める。但し、別に定める要件を満たすこと。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>【校内に学生用パソコンを設置】学修や就職等に必要な情報等を自由に得たり、書類等の作成から印刷まですることが出来る。</p> <p>【就職サポート】</p> <p>個別面接指導や就職試験対策、自己分析、インターンシップ等により学生一人一人の就職をサポートしています。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>R2年度卒業生なし</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>R2年度卒業生なし</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>R2年度卒業生なし</p>			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 中途退学者なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) ロングホームルームを多く設け学生の変化や状況を把握するように心掛ける。 OB、OG来校の際には、アドバイスをしてもらおうが、在校生の心に響いているので今後も続けて実施する。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	ホスピタリティマネジメント学科 ウェディングプランナーコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1700 単位時間/91 単位	1080 単位時間 /単位	単位時間 /単位	620 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
	単位時間/単位						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人(内数)		6人	0人	3人	18人	21人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	ホスピタリティマネジメント学科 ウェディングスタイリストコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1700 単位時間/65 単位	355 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1345 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
	単位時間/単位						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人(内数)		6人	0人	3人	18人	21人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士
商業実務		商業実務専門課程	ホスピタリティマネジメント学科 ホテル・旅館・リゾートコース	○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類		
			講義	演習	実習

2年	昼	1700 単位時間/96 単位	1220 単位時間 /単位	単位時間 /単位	480 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人(内数)	2人	0人	3人	18人	21人		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務専門 課程	ホスピタリティマネジメント学科 葬祭ディレクターコース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1700 単位時間/82 単位	1000 単位時間 /単位	単位時間 /単位	700 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人(内数)	0人	0人	3人	18人	21人		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務専門 課程	ホスピタリティマネジメント学科 フラワーコーディネーターコース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1700 単位時間/77 単位	645 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1055 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人(内数)	4人	0人	3人	18人	21人		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務専門 課程	ホスピタリティマネジメント学科 ホスピタリティビジネスコース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1700 単位時間/85 単位	885 単位時間 /単位	単位時間 /単位	815 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人(内数)	4人	0人	3人	18人	21人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) ウェディングプランナーコース・・・ウェディングプランニングを中心に、ドレスコー ーディネートやフラワーコーディネート、レストランサービスなど、総合的な知識・

<p>技術・ビジネス感覚が必要とされるウェディングプランナーと目指すために必要なカリキュラムを習得していきます。2つの国家検定取得に加え、校内の最新施設を使用した模擬挙式・披露宴などのジョブトレーニングで実践に即したスキルを身につけます。</p> <p>ウェディングスタイリストコース・・・細やかなドレスフィッティングやコーディネーター、多彩な種類の和装着付に加え、ブライダルシチュエーションに特化したメイクアップ、ネイル、エステティックの美容スキルを習得します。また、各有名美容団体主催による資格取得に加え、国家検定ブライダルコーディネーター技能検定にも対応。流行のブライダルシーンに美を提供するビューティシャンを目指します。</p> <p>ホテル・旅館・リゾートコース・・・フロントやドアマン、コンシェルジュ、仲居などホテル・旅館スタッフとしての様々な職種やセクションに対応したカリキュラム編成で1・2年次を通じて学びます。さらにブライダル分野、温泉観光分野までの学びも取り入れ、企業でオンリーワンの人材になれるようなワンランク上のホテル・旅館スタッフを目指します。</p> <p>葬祭ディレクターコース・・・ご遺族の心のケアから、葬祭に関する基本的な接遇マナーや葬送ビジネス・公衆衛生などの専門知識、祭壇設営・葬儀装飾・フラワー・料飲サービスなどの専門技術を総合的に習得し、ご遺族の思いに寄り添う優し屋を持ったプロの人材を育成することを目的としたコースです。</p> <p>フラワーコーディネーターコース・・・国家検定「フラワー小食技能検定3・2級」、「園芸装飾技能検定3級」の取得を目標に学びます。さらにブライダルやホテル、葬祭といった生花が必要とされる現場で、テーマや空間に合わせたコーディネーター、アレンジメントができるフラワーコーディネーターを目指していきます。また、造花も使用したアート作品制作や色彩学、植物生理学を学び、花を扱うプロとしての知識とスキルを身につけます。</p> <p>ホスピタリティビジネスコース・・・ホテルや旅館での宿泊業務、レストランサービス、ブライダルプランニング&ビューティ、葬祭まで幅広くホスピタリティ業務を習得していきます。さらに英会話や中国語も学ぶことで、ホスピタリティ業界でオールマイティに活躍できる人材を目指します。</p>
--

<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <p>各授業科目の成績評価は、各学期末に行う試験、実習の成果、レポート内容・提出状況、受講態度等を総合的に勘案し、各授業科目を修了したものに所定の単位を与える。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>【進級】</p> <p>ホスピタリティマネジメント学科の学生は、卒業に必要な課目をすべて履修しなければならない。学修の評価は、科目により試験得点による評価や実習の成果、レポート内容・提出状況、受講態度等を総合的に勘案し5段階の成績評価とし、C評価以上を合格とする。</p> <p>・校長は、次の各号に該当する者について進級認定会議に附して進級を認定する。</p> <p>①1年次に定められた授業科目を履修し、単位を修得したもの。</p> <p>②1年次に納入すべき授業料その他の金額をすべて納入しているもの。</p> <p>【卒業】</p> <p>卒業までに履修させる単位数は、ウェディングプランナーコースにおいては91単位以上、ウェディングスタイリストコースにおいては65単位以上、ホテル・旅館・リゾートコースにおいては96単位以上、葬祭ディレクターコースにおいては82単位以上、フラ</p>

<p>ワーコーディネーターコースにおいては77単位以上、ホスピタリティビジネスコースにおいては85単位以上を修得した。1年次におけるインターンシップは、ウェディングプランナーコース、ウェディングスタイリストコースは、1年次の実働140時間を4単位、2年次の実働40時間を1単位として実習演習科目のインターンシップの卒業単位として認める。ホテル・旅館・リゾートコースのインターンシップは、1年次の実働90時間を3単位、2年次の実働40時間を1単位として実習演習科目のインターンシップの卒業単位として認める。葬祭ディレクターコースのインターンシップは、1年次の実働60時間を2単位、2年次の実働40時間を1単位として実習演習科目のインターンシップの卒業単位として認める。フラワーコーディネーターコースのインターンシップは、1年次の実働180時間を6単位、2年次の実働40時間を1単位として実習演習科目のインターンシップの卒業単位に認める。ホスピタリティビジネスコースのインターンシップは、1年次の実働180時間を6単位、2年次の実働40時間を1単位として実習演習科目のインターンシップの卒業単位に認める。ホスピタリティマネジメント学科の海外リゾート研修の参加は、各コースの実習演習科目のインターンシップの1単位として卒業単位に認める。</p>
<p>学修支援等</p>
<p>(概要)</p> <p>【校内に学生用パソコンを設置】学修や就職等に必要な情報等を自由に得たり、書類等の作成から印刷まですることができる。</p> <p>【就職サポート】</p> <p>個別面接指導や就職試験対策、自己分析、インターンシップ等により学生一人一人の就職をサポートしています。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
完成年度前のため卒業生なし			
(就職指導内容)			
完成年度前のため卒業生なし			
(主な学修成果(資格・検定等))			
完成年度前のため卒業生なし			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
中途退学者なし		

(中退防止・中退者支援のための取組)
 ロングホームルームを多く設け学生の変化や状況を把握するように心掛ける。
 OB、OG来校の際には、アドバイスをしてもらいが、在校生の心に響いているので
 今後も続けて実施する。

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
ウェディングプランナー学科 ウェディングスタイリスト学科 ホテル・旅館・リゾート学科 葬祭ディレクター学科 ホスピタリティマネジメント学科	100,000円	580,000円	480,000円	実習・研修費 270,000円 施設設備費 200,000円 休学中の在籍料 10,000円
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページにより公表 (現在はR1年度の情報、R2年度の情報は9～10月頃にアップする予定) URL: http://www.gbhc-ac.jp/ (TOPページ下部の「学校情報」)
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)
【評価項目】 1) 教育理念・目標 2) 学校運営 3) 教育活動 4) 学修成果 5) 学生支援 6) 教育環境 7) 学生の受け入れ募集 8) 財務 9) 法令等の遵守 10) 社会貢献・地域貢献 【評価委員会の構成】 企業委員3名 【評価の活用方法】 学校教育活動等の総合的な状況について、学校関係者評価委員が基準を満たしているかどうかの判断を中心とした評価を実施する。評価の結果を受け、学校運営や教育活

<p>動についての見直しや改善を行うことで実践的な職業教育を行い、業界で活躍できる人材の育成に努める。</p> <p>【学校関係者評価委員会の開催時期】 前年度の自己評価に対する評価を当年度の8月頃に委員会を開催</p> <p>【学校関係者評価結果の公表時期】 前年度に対する評価結果を通年当年度の9～10月頃にホームページに公表する</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社ライフシステム	R3年4月1日～R6年3月31日	企業等委員
新井博法律事務所	R3年4月1日～R6年3月31日	企業等委員
有限会社富岡労務管理事務所	R3年4月1日～R6年3月31日	企業等委員
学校関係者評価結果の公表方法		
<p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)</p> <p>ホームページにより公表 (現在はR1年度の情報、R2年度の情報は9～10月頃にアップする予定) URL : http://www.gbbc-ac.jp/ (TOP ページ下部の「学校情報」)</p>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

<p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)</p> <p>「学校パンフレット及び募集要項」本校ホームページ (http://www.gbbc-ac.jp/) のTOP ページ右上の“資料請求”からか電話での資料請求により入手可能</p>
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「一」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	ウェディング・ホテル&ツーリズム専門学校
設置者名	学校法人群馬県美容学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

	前半期	後半期	年間
支援対象者 (家計急変による者を除く)	一人	一人	一人

内 訳	第Ⅰ区分	一人	一人	
	第Ⅱ区分	一人	0人	
	第Ⅲ区分	0人	0人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				一人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

- (1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

- (2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及 び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了 できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が標準単位数 の5割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の5割以下)	人	0人	0人
出席率が5割以下その他 学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人

「警告」の区分に 連続して該当	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	0人	0人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。